

くらし・憲法を破壊する 安倍政権

新久喜

4・5月号
発行
日本共産党
久喜市委員会
久喜市南-11-22
Tel.22-2365



「日本を取り戻す」とはどういうことか

自民党のキャッチ・フレーズ「日本を取り戻す」とは、実に抽象的な表現ですが、この3ヶ月半で次第に見えてきたことがあります。
安倍政権は補正予算を組む、デフレ脱却、物価

という期待感だけで、内閣支持率70%とは驚きです。そしてこれらを背景にして7月の参院選では単独過半数を狙っています。それまでは、猫かぶり（河野平氏評）を決めこんでいるのです。

盟国アメリカの為に一肌脱げるよう、集団的自衛権の行使容認の為の憲法解釈見直しに意欲的です。そして終局的には憲法9条をなくすことが狙いなのです。

2%上昇をぶち上げた、経済政策アベノミクス三本の矢が、何やら小泉氏のスローガン絶叫政治に似ていますが、まだ具体的な政策は何もやっていません。それにも拘わらず、もしや景気が良くなるのでは…

再び戦争をする国にしてはなりません。世界の宝である憲法9条（戦争放棄）を守る為にも、この7月の参院選挙は、とても重要な選挙となります。



2013年度の久喜市政方針と新年度の予算編成の特徴と問題点。
第1は市政運営の基本方針で安倍新政権に対する「期待」と「注視」です。市長は『国の成長戦略に基づく日本経済の再生を期待するとともに、本市として

党市議団 国の悪政の防波堤になり 国保税引き下げなど住民負担軽減へ

業主体の経済再生等への「期待」です。また生活保護基準の引き下げに象徴される税と社会保障一体「改悪」など市民生活向上への視点は弱く、これでは地方自治体の「住民の福祉増進を図る」という目的を忘れていきます。

金などの、値上げによる負担増に、市民から不安と批判があがっています。今後これらを改善・充実させる予算が必要で

も「緊急経済対策」及び「骨太の方針」による地方への影響に注視する」としている点です。

すでに破たんした「小泉流」の「骨太方針と新自由主義路線」の踏襲と働く人々の賃金引き上げ目標がない中、インフレの2%目標や大型公共事業

国の改悪、後退路線への「防波堤」の役割は果たせません。第2は予算編成にあたって合併による効果をさらに追求するとしていますが、むしろ合併によって住民サービスが低下し、国保税、水道、農業集落排水料

国保税、水道、農業集落排水料

の改悪、後退路線への「防波堤」の役割は果たせません。第2は予算編成にあたって合併による効果をさらに追求するとしていますが、むしろ合併によって住民サービスが低下し、国保税、水道、農業集落排水料



日本と世界の
本当がわかる
明日が見える
赤旗新聞をお読み下さい

日刊赤旗 3400円
日曜版 800円

ホットライン

とことん検証 TPPの正体

財界から大歓迎され、マスコミからも肉や米・野菜が安くなると宣伝されているTPP。果たしてその正体は？各界から懸念の声が出ています。

遺伝子組み換え食品や添加物制限も撤廃されるのが心配、と語るのは主婦連会長の山根さん。また、岩手漁連の大井さんは「大きな被害を受けた岩手県で関税が撤廃されて海外から安価な水産物が入ってくるればとても太刀打ちできない」と語ってくれました。また医療の現場からは「アメリカの民間保険会社が乗り出してくれば、お金のある人でなければ医者に行けなくなる」と、日本の皆保険制度に警鐘を鳴らします。

先の総選挙で295人当選した自民党、その内、皮肉にも205人が「TPPに反対」の公約で当選したこと、忘れないでほしい！

自民党は 公約守れ

